

一般質問

◆市保有車両の整備、車検のあり方について

質問 入札参加資格者名簿の自動車整備業登録業者数と当市の車両保有台数を伺う。

答弁 登録業者数は市内26社、市外4社。車両台数は小型自動車、普通自動車、軽乗用車などが120台、バスやトラックなどが61台、除雪車などの特殊車両が156台、合計で337台。

質問 50万円以下の整備は随意契約で行っているが、公平性、透明性を担保するには入札制とするべきと考えるが見解を伺う。

答弁 事務負担、車両休車時間など考慮して現状が良いと考えている。

質問 新規登録業者は、各課に営業行為を積極的に行わなければ仕事を受注できないのか。また、整備受注数が多い業者、最も少ない業者の数を伺う。

答弁 業者の営業努力になることもある。発注台数の一番多い事業者で20台、6つの事業者が発注ゼロである。

◆小安峡温泉給湯施設、給湯料金の経過について

質問 これまでの温泉整備の総額について伺う。

答弁 3本の温泉井と付帯施設などを整備しており、整備費は平成30年度から今年度までで4億1千万円ほどである。

質問 休止中の6号井の今後の復旧費はどれくらいか伺う。

答弁 調査・点検に約400万円、復旧費の算定は調査後になる。

質問 給湯料金の条例変更はいつ頃になるか伺う。

答弁 令和7年3月定例会を予定している。

質問 メジャーな温泉郷を構築するには、駐車場やトイレ、遊歩道などはもちろん、大湯湯や大湯滝へのエレベーターやゴンドラ等の整備が不可欠である。県や国との連携も必要と考えるが見解を伺う。

答弁 今後の検討課題としていく。

質問 しっかりと整備を進めていくためにも、入湯税の見直しも必要と考えるが。

答弁 各自自治体において税率の変更も可能だが、考えになかった提案であり、検討したい。



◆市外とのアクセスについて

質問 市単独で空港とのアクセスを検討されたことはあるか。

答弁 様々な分析して、他市の例など参考にしたい。

◆本市の教育行政について

質問 教育委員会として、生成AI等の使用について、現場向けに構えていることは。

答弁 マイナスの面があることを子供や家庭の方々に理解していただく。あくまで補完的なツールであり、思考力を養う教育活動を大事にしたい。

◆豚舎の異臭について

質問 関係者から、臭気が抑えられたという事実の提示、具体性のある情報はあるか。

答弁 業者と市で意見交換し、秋田県農業公社に改善事項等を指導していただいた。業者から以前より臭気は抑えられているのではないかという話は伺っている。

質問 行政の本来性というべきか、市は積極的に根本的な解決に向け関与すべきと考えるが。

答弁 まずは秋田県農業公社に指導していただいて、それでも収まらなければ、然るべき対応を取らねばならないと考えている。

◆本市の財政状況について

質問 いわゆる箱物、大型事業が続く将来負担比率は類似団体を大きく上回る。施設の延命や開発行為、解体の見直しは。

答弁 令和11年度末に財政調整基金残高37億円を目標に、地方債の発行を抑制して残高の削減に努め、令和7年度から令和11年度の発行額を85億円程、残高を令和11年度末で262億円とする目標はある。若干のずれが生じる可能性はあるが、この財源の中で模索したい。

◆一連の事務処理誤りについて

質問 事務処理誤りの中でも、交付前マイナンバーカードの紛失の件は不可解な点が多い。紛失ではなく盗難ではないか。

答弁 職員のヒアリングを通じて、状況を確認した上で紛失という判断をした。

